

Journey

Challenge

Exchange

Adventure

Encounter

Departure

Discover

Plan

Destination

Search

Quest

Process

2022.4

2023.3

ロームシアター京都

ROHM Theatre Kyoto

自主事業ラインアップ

ロームシアター京都 2022年度自主事業の企画にあたって

2022年度自主事業ラインアップテーマ「旅」

「コロナが落ち着いたら」、「コロナ禍の状況を鑑みて」という言葉をこの2年間、苦渋の思いで何度も繰り返してきました。「コロナ禍」「三密」「ソーシャル・ディスタンス」という耳新しい言葉も、今では定着してしまいました。2021年度は、ラインアップテーマを「声」とし、停滞した舞台芸術活動を再開し、自分たちの「声」＝表現を取り戻そうと、制限のある上演・創作環境のなかでも場をつくり出し、観客との関係をあきらめないアーティストたちとの協働によってプログラムを展開しました。しかし、オミクロン株の蔓延によって、再び、舞台芸術は多大な影響を受け、ロームシアター京都の公演も年明け以降中止が相次ぎました。マスクをつけて発する「声」がどこまで観客に届いたのかと振り返りつつ、2022年度を迎えます。

2022年度のラインアップテーマは「旅」です。言わずもがな移動の制限があったこの2年、人々は旅する自由を奪われました。しかし、旅の醍醐味はさまざまです。その計画や準備、道中にこそ楽しさがあるという人もいます。またこのコロナ禍で、私たちは近頃の「当たり前」の日常の大切さ、そしてその中にも冒険があることを知りました。2022年度のテーマには、新しい出会いや発見、そこに行くまでの過程やリサーチ、そして何かを探索すること、チャレンジなど「旅」から想起するいろんな言葉や意味合いを含めています。ここから遠いどこかや未来について思いを馳せたり、古から伝わる技や鍛えられた身体に驚かせられたり、そして社会や平和について考え、自分自身を見つめる機会であったり…。国内外の新鋭からそのジャンルを代表するようなアーティストまで多彩なプログラムを通して、皆様をさまざまな「旅」に誘います。音楽・演劇・ダンスを灯りに、この困難な世界を旅してみませんか。

劇場の財産となる作品をプロデュースするシリーズ「レパートリーの創造」では、松田正隆による2021年1月に発表した『シーサイドタウン』と、その延長線上にある新

作を二本続けて上演します。共に松田の故郷・長崎を彷彿とさせる海辺の地方都市を描きます。途絶えていた海外アーティストによる上演は、ギリシャ、チェコ、アメリカ、フランスなどから話題作がやってきます。待ちに待った瞬間が実現することを切に願います。音楽プログラムでは演出家 白井晃を迎えて、京都市交響楽団の更なる魅力を引き出すプログラムをはじめ、これからの「音楽」を考える機会を生み出します。2020・2021年度に中止となった公演の振替も並んでいます。おきなわの三地域からの貴重な演目群、『妖精の問題 デラックス』（レパートリーの創造 2022年1月発表）の記憶も新しい市原佐都子とスイスの劇場との共同製作等、満を持しての上演となります。そして、ラーニングやコミュニティプログラムの充実にも取組みます。

ある方がロームシアター京都の中庭、ローム・スクエアを「緑側」に例えてくださったことがあります。屋外などのオープンスペースでの企画は、ホールのなかで上演しているコンサートや公演をちらっと覗くような体験になると。今年2月に開催した「“いま”を考えるトークシリーズ Vol.18」に登壇いただいた藤原辰史さん、小山田徹さんからは、公共の場には、雨や風、暑い日差しから身を守る「軒下」のようなアジール（避難所）の役割を担う場所が必要であるというお話がありました。約束をレインターホンを押して「玄関」から入る＝チケットを購入して決まった時間に劇場に足を運ぶこともあれば、ふらっと「緑側」に立ち寄って中を覗き込む、何かを求めて「軒下」に駆け込む。この「緑側」と「軒下」の例えから、自主事業のラインアップや劇場を開かれた場にするためのヒントを得たように思いました。ここ京都に「劇場文化」をつくり、それをどっしりと根付かせ、そして新たな芽が息吹くように「玄関」、「緑側」、「軒下」…という入り口を増やし、広げるように努めてまいります。ぜひ2022年度もロームシアター京都の活動にご注目いただけたら幸いです。

2022年度自主事業ラインアップ 6つの事業カテゴリー

1 | 作品創造
劇場の財産となる作品のプロデュースや国内外のアーティストとの協働により、ロームシアター京都を創造の場として活かした事業を展開します。

2 | 京響プログラム
ロームシアター京都は京都市交響楽団の第2のフランチャイズホールです。音楽のみならず他ジャンルとのコラボレーションなどで京響の新たな魅力を広げます。

3 | 伝統芸能の継承
日本舞踊、能楽、文楽、雅楽といった古典芸能に加え、地域ごとに継がれてきた民俗（郷土）芸能を独自の切り口で紹介し、伝統芸能の面白さを伝えます。

4 | ロームシアター京都セレクション
国内外からの選りすぐりの舞台芸術作品をご紹介します。次代を担う若手アーティストの創造支援やKYOTO EXPERIMENTなど京都のさまざまな施設や団体と連携して行うプログラムもあります。

5 | ラーニング
小中高生、それぞれの年代に応じた育成事業を展開するほか、舞台芸術に関わるレクチャーやリサーチを創作・実践の場と運動して行います。

6 | コミュニティ
多様なライフスタイルと密着したプログラムや、ホールを飛び出して行う事業などを通して、京都・岡崎地域の施設や団体と連携を深め、地域の活性化に繋がります。

月	日	会場	事業名	ページ
4	29 ^[金・祝] , 5 ^{月3日} ^[火・祝]	サウスホール	《継承と創造》宮古・八重山・琉球の芸能	02
	30 ^[土]	パークプラザ 3階共通ロビー	ホリデー・パフォーマンス Vol.10	
5	4 ^[水・祝] -6 ^[金]	ノースホール	U35創造支援プログラム“KIPPU” 敷地理「Hyper Ambient Club」	03
	7 ^[土] , 8 ^[日]	メインホール	バルコ・プロデュース「セールスマンの死」	
	14 ^[土]	パークプラザ 3階共通ロビー	“いま”を考えるトークシリーズ Vol.19	
6	5 ^{月24日} ^[火] ほか	サウスホール	市民寄席 第360回～第364回	04
	1 ^[水] , 2 ^[木]	平安神宮特設舞台 (雨天時：メインホール)	第71回 京都新能ー京都能楽会八十周年ー	
	1 ^[水] , 2 ^[木]	メインホール	能の世界へおこしやすー京都新能鑑賞のための公開講座ー	
	11 ^[土] , 12 ^[日]	ノースホール	Sound Around 002	
	23 ^[木] -25 ^[土]	サウスホール	ディミトリス・ババリオヌー 「TRANSVERSE ORIENTATION」	
7	17 ^[日]	メインホール	Noism×鼓童 新作公演「鬼」	07
8	7 ^[日]	ノースホール	ブレイ!シアター in Summer 2022 ステージプログラム 「快傑ゾロ」アルファ劇場fromチェコ共和国	08
	13 ^[土] -18 ^[木]	ロームシアター京都 全館	ブレイ!シアター in Summer 2022 オープンウィーク	
	25 ^[木]	サウスホール	能楽チャリティ公演 ～祈りよとどけ、京都より～	
9	9 ^{月4日} ^[日] ほか	京都市文化会館5階	ロームシアター京都×京都市文化会館5館連携事業 「シアターデビュー!」促進プログラム	18
	15 ^[日] ^[木] -17 ^[土]	ノースホール	ノイマルクト劇場&市原佐都子／Q 「Madama Butterfly（蝶々夫人）」	
	24 ^[土]	サウスホール	クロノス・カルテット 《ブラック・エンジェルズ》&《ディアレント・トレインズ》	
10	1 ^[土] -23 ^[日]	ロームシアター 京都 ほか	KYOTO EXPERIMENT 2022	12
	1 ^[土] -16 ^[日] (予定)	ローム・スクエア	OKAZAKI PARK STAGE 2022	
	9 ^[日]	サウスホール	京都市立芸術大学音楽学部創立70周年記念・移転整備プレ事業 オーケストラ協演! inロームシアター京都	
11	25 ^[火] , 27 ^[木]	メインホール	新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室2022「蝶々夫人」	12
	上旬	サウスホール	カンパニーXY with ラシッド・ウランダン「Möbius／メビウス」	
	19 ^[土]	パークプラザ 3階共通ロビー	ホリデー・パフォーマンス Vol.11	
12	9 ^[金] -11 ^[日]	ノースホール	U35 創造支援プログラム“KIPPU” 空間現代×三重野龍「タイトル未定」	14
	下旬	ノースホール	地域の課題を考えるプラットフォーム「仕事と働くことを考える」(その2) 「Pamilya (パミリヤ)」	
	2023 1 ^[土]	メインホール	ロームシアター京都×京都市交響楽団 シアターオーケストラ・コンサート シリーズ	
2	9 ^[木] -12 ^[日]	ノースホール	U35 創造支援プログラム“KIPPU” 努力クラブ 第16回公演「世界対僕」	15
	22 ^[水] , 23 ^[木・祝]	サウスホール	木ノ下歌舞伎「桜姫東文章」	
	中旬 (予定)	ノースホール	レパートリーの創造 松田正隆 作・演出「文化センターの危機」	
3	中旬 (予定)	ノースホール	ロームシアター京都 レパートリー作品 松田正隆 作・演出「シーサイドタウン」	16
	17 ^[金] , 19 ^[日]	メインホール	小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトXIX G.ブッチェーニ：歌劇「ラ・ボエーム」	

伝統芸能の継承 音楽 舞踊

日程 4月29日〔金・祝〕宮古の芸能／八重山の芸能 13:00開演
5月3日〔火・祝〕琉球の芸能 16:00開演 会場 サウスホール



「シリーズ 舞台芸術としての伝統芸能」
を発展させ、民俗（郷土）芸能の
魅力にフォーカスする

各地域の専門家や研究者に監修をお願いし、おきなわ三地域（宮古・八重山・琉球）の舞踊と唄を上演します。時代の波をくぐり、人々の生活や自然と共に育まれてきた身体と声。島々で継承され、現代に生きる芸能の姿をお見せします。

2022年2月11日（金・祝）、12日（土）に予定していた公演の延期開催です。

全席指定 一般|3,500円／25歳以下|2,000円／18歳以下|1,000円

※4月29日 宮古の芸能／八重山の芸能、5月3日 琉球の芸能、両日とも同じ料金です。

お得な2日間通し券〔4月29日+5月3日〕一般|6,000円／25歳以下|3,000円

※18歳以下対象の2日間通し券は販売いたしません。〔発売中〕

主催 | 京都市、ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団） 後援 | 沖縄県立芸術大学
企画 | ロームシアター京都、那覇文化芸術劇場なはーと

コミュニティ 音楽

日程 年2回 開催 会場 パークプラザ3階共通ロビー（予定）

音楽を中心としたパフォーマンスを無料でお楽しみいただけるシリーズです。ジャンルにとらわれない多様なパフォーマンスを紹介し、日常で気軽にアートに触れる機会を創出します。2022年度は、「即興／変化」というテーマに沿ったアーティストを迎えます。

Vol.10 4月30日〔土〕14:00開演 | 出演 | 大所帯非楽器アンサンブル POLY!

大所帯非楽器アンサンブル POLY!

規格化された日用品たちの潜在能力を掘り起こし、あらたに個性的な音を奏でる奏具としてとらえなおす。そうして再発見された奏具を様々なバックボーンを持つメンバーたちが使用することにより“ドレミ”の外側に飛び出す予想のつかないコミュニケーションの出現を目論む。「サウンドパフォーマンスプラットフォーム2019」などに出演する一方、環境を楽器として見立てる「SOTO POLY!」など自主企画でも活動中。



Vol.11 11月19日〔土〕14:00開演 | 出演 | 米子匡司



米子匡司／Tadashi Yonago

音楽家・エンジニア。トロンボーン・ピアノ奏者。楽器と自作の電子楽器を使ったライブ演奏、自作の楽器／音響装置によるインスタレーションの制作、屋外に着目したイベントや録音作品の制作などを行う。これまでにSjQ/SjQ++ (cubic music/HEADZ)、越後屋 (NOISE McARTNEY RECORDS) などのグループに参加。国内のほか、マレーシア・シンガポール・ドイツなどで展覧会・ライブイベントに参加。

無料、申込不要 主催 | ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市

ロームシアター京都セレクション 舞踊

日程 5月4日〔水・祝〕19:00開演、5日〔木・祝〕14:00開演／19:00開演
6日〔金〕14:00開演 会場 ノースホール

「アンビエント」とは、周囲の空間全体を示す言葉。本作で追求するのは、外部からの刺激を受けた際に身体にもたらされる、感情以前の微細な知覚反応。ダンスフロアで能動と受動を行き来する観客の身体に注目し、パフォーマーの身体が、同じ空間にいる観客をどう刺激し極度に繊細な状態を誘発させることができるかを実験します。

演出・振付 | 敷地理 音楽 | 荒井優作

出演 | 黒田健太、敷地理 ほか

2022年2月5日（土）、6日（日）に予定していた公演の延期開催です。

全席自由 一般|3,000円／U29|2,800円／U18|2,500円〔発売中〕

主催 | 敷地理
共催 | ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都芸術センター（公益財団法人京都市芸術文化協会）、京都市

ロームシアター京都セレクション 演劇

日程 5月7日〔土〕13:00開演／18:00開演、8日〔日〕13:00開演 会場 メインホール

演劇界の金字塔、アーサー・ミラー不朽の名作を、豪華俳優陣で上演!

過酷な競争社会、若者の挫折、家庭の崩壊を描き、トニー賞、ニューヨーク劇評家賞、ピューリッツァ賞を受賞。演劇界の金字塔ともいえるアーサー・ミラーの「セールスマンの死」。主人公ウィリー・ローマンを演じるのは、舞台のみならずテレビ・映画でも充実した活動が続ける段田安則。自身65歳の節目に満を持して挑みます。また、25年振り2回目の本格的舞台となる鈴木保奈美のほか、豪華俳優陣が集結。演出に、サイモン・ステイーブンスの新作戯曲「FORTUNE」(2020年)でのセンセーショナルな演出が記憶に新しい、気鋭のイギリス人演出家、ショーン・ホームズを迎え、新たな劇世界を創りあげます。今なお、強く胸に迫る、珠玉のヒューマンドラマにご期待ください。

作 | アーサー・ミラー 翻訳 | 広田敦郎 演出 | ショーン・ホームズ

出演 | 段田安則、鈴木保奈美、福士誠治、林遣都／前原滉、山岸門人
町田マリー、皆本麻帆、安宅陽子／鶴見辰吾、高橋克実



全席指定 11,500円（税込）〔3月27日（日）一般発売開始〕 ※お一人様1回につき2枚まで

主催 | ABCテレビ、サンライズプロモーション大阪 共催 | ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）
後援 | ブリティッシュ・カウンシル 企画・製作 | 株式会社バルコ

コミュニティ 学び

日程 年2回 開催 会場 パークプラザ3階共通ロビー

多様な角度から同時代の社会を知り、捉え直すためのトピックを挙げ、それにまつわるゲストを招くトークシリーズです。

Vol.19 ケア&フェミニズムの視点から、演劇創作をアップデートする 5月14日〔土〕15:00開演

ゲスト | 岡野八代（政治学者）、山口茜（劇作家・演出家）

国内における「ケア」をめぐる言論の先駆者である岡野八代と、劇作家・演出家の山口茜（サファリ・P/トリコ・A）を迎えます。演劇創作と子育てを並行する山口の日々の実感を聴きつつ、相互依存の関係性を肯定する「ケアの倫理」の視点を知ること、2022年の「ケア」と「演劇」の接点を見出します。

無料、事前申込優先 主催 | ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市

ロームシアター京都×京都芸術センター
U35創造支援プログラム「KIDU」
2021年度参加アーティスト
敷地理「Hyper Ambient Club」

パルコ・プロデュース
「セールスマンの死」

いまを
考える
トークシリーズ

作品創造 音楽 美術・映像

日程 6月11日〔土〕、12日〔日〕
11日 13:00-20:00、12日 11:00-18:00 会場 ノースホール

2日間“変化”しつづける
革新的サウンドパフォーマンス

ジャンルや固定観念にとらわれない「音楽」を軸とした表現活動を行うアーティストによるパフォーマンスを紹介するシリーズの第2弾です。今シーズンのテーマは「即興／変化」。モーターと養生テープを使用したサウンドパフォーマンスを行うユニット「正直」をホストに迎えます。ホストによるパフォーマンスはもちろん、ゲスト・パフォーマーとのコラボレーション、レクチャー形式のトークコーナーなどが2日間にわたり繰り広げられます。同時に、空間や客席は、2日間を通して、つくる・壊すなどの試行を繰り返しながら常に変化していきます。パフォーマンス&展示形式の開催となりますので、パフォーマンスを観るもよし、何が起こるか1日見守るもよし、自由なスタイルでお楽しみください。

ホスト・出演 | 正直 [小林椋、時里充]

ゲスト | 前後 [神村恵 (ダンサー) + 高嶋晋一 (美術作家)]、山田亮太 (詩人) *11日、石若駿 (打楽器奏者) *12日、THE COPY TRAVELERS [加納俊輔／迫鉄平／上田良]、佐々木文美 (セノグラファー)、土方大 (アーティスト／インストーラー)、金子智太郎 (美学研究者) *11日

正直 / Shojiki

小林椋と時里充によるユニット (バンド)。2016年結成。できるだけ正直に演奏することをコンセプトに、最近ではモーターと養生テープを使用した演奏を行う。2018年、Basic Functionからカセットテープ作品「KB」をリリース。2019年、アルス・エレクトロニカ (オーストリア・リンツ) にてHonorary Mentions受賞。ロームシアター京都では、「ホリデー・パフォーマンスVol.7」(2021年3月) に出演。

山田亮太 / Ryota Yamada

詩人。詩集に『ジャイアントフィールド』(思潮社)、『オバマ・グーグル』(思潮社、小熊秀雄賞)、『誕生祭』(七月堂)。共著に『猫と一緒に外国へ行く』(TOLTA)、『新しい手洗いのために』(素粒社) など。ヴァーバル・アート・ユニット「TOLTA」メンバー。

THE COPY TRAVELERS

京都を拠点として活動する美術家の加納俊輔、迫鉄平、上田良によって2014年に結成されたユニット。写真や映像をメインに活動している三人のエッセンスをミックスしながら、「複製」という手法の可能性について、コピー機やスキャナ、カメラなどのツールを用いて日々実験に動かしむ。また、アートブック出版、展覧会などの活動を行っている。

出入自由 1日券 (各日) | 一般 | 3,000円 / ユース (25歳以下) | 2,000円 / 18歳以下 | 1,000円
2日通し券 | 一般 | 4,500円 / ユース (25歳以下) | 3,000円 / 18歳以下 | 1,500円

未就学児無料、年齢制限なし (未就学児入場可)

※固定の座席はありません。立見の場合もあります。

※終日出入自由ですが、混雑状況により、お待ちいただく場合があります。 [5月12日 (木) 一般発売開始]

主催 | ロームシアター京都 (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市



撮影：佐々木卓男

伝統芸能の継承 演劇

日程 第360回 5月24日〔火〕 19:00開演 第361回 7月26日〔火〕 19:00開演
第362回 9月25日〔日〕 13:30開演 第363回 11月22日〔火〕 19:00開演
第364回 2023年1月22日〔日〕 13:30開演 会場 サウスホール

1957年にスタートし、京都では恒例の落語会として長く親しまれてきた「市民寄席」。幅広い世代に笑いを届ける上方落語の生の迫力と寄席の雰囲気をご体験ください。

第360回 番組

「お忘れ物承り所 (作 桂 三枝)」桂 文路郎

「上爛屋」桂 ひろば、「死神」笑福亭 仁扇

「八度狸金玉仇討」桂 文太

市民寄席



撮影：佐々木卓男

全席指定 第360回、第361回、第363回 | 前売 | 1,800円 / 当日 | 2,000円 / ユース (25歳以下) | 1,500円
第362回、第364回 | 前売 | 2,300円 / 当日 | 2,500円 / ユース (25歳以下) | 1,500円
年間席札 | 8,000円 / ユース (25歳以下) | 6,000円 [第360回発売中]

主催 | 京都市、ロームシアター京都 (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

伝統芸能の継承 演劇

日程 6月1日〔水〕、2日〔木〕 両日 18:00開演 会場 平安神宮特設能舞台
※雨天の場合はメインホール



能の普及と発展をめざして毎年開催され、今や京都の初夏の風物詩となっている京都薪能。

6月1日〔水〕 金剛流能 「淡路」(シテ) 金剛龍謹
観世流能 「花筐」(シテ) 浦田保親
大蔵流狂言 「首引」(シテ) 茂山逸平
観世流能 「龍虎」(シテ) 大江信行

6月2日〔木〕 観世流能 「養老」(シテ) 吉浪壽晃
金剛流能 「龍田」(シテ) 金剛永謹
大蔵流狂言 「福の神」(シテ) 茂山忠三郎
観世流能 「小鍛冶」
(前シテ) 大江泰正 (後シテ) 橋本光史

全席自由 前売 | 4,000円 / 学生前売 | 3,000円 / 当日 | 5,000円 / 前売団体割引 | 3,600円 (15名以上)

※日にち指定制 (両日共通券ではありません) [4月16日 (土) 一般発売開始]

主催 | 京都市、一般社団法人京都能楽会 共催 | ロームシアター京都 (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

伝統芸能の継承 演劇 学び

日程 6月1日〔水〕、2日〔木〕 両日 14:00開演 会場 メインホール

京都薪能を通じて能と狂言の世界をお楽しみいただくために、出演者による公開レクチャーを今年も実施いたします。能の謡や囃子、狂言の体験を交えた解説の後に、ダイジェスト版の能も鑑賞していただけます。午後6時に開催される“京都薪能”をご覧ください。午後2時からの無料レクチャー「能の世界へおこしやす」にどうぞお越しください。

出演 | 京都薪能出演能楽師

全席自由 無料、申込不要

お問合せは京都いつでもコール (075-661-3755)、ロームシアター京都 (075-771-6051)

主催 | 京都市、一般社団法人京都能楽会、ロームシアター京都 (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)



能の世界へおこしやす
— 京都薪能鑑賞のための公開講座 —

市民寄席

第71回 京都薪能
— 京都能楽会八十年 —

ロームシアター京都セレクション 舞踊

日程 6月23日[木]、24日[金] 19:00開演、25日[土] 15:00開演

会場 サウスホール

あの衝撃を再び。「THE GREAT TAMER」(2019年)も記憶に新しいギリシャの振付家・ディミトリス・パパイオアヌーが最新作で約3年ぶりに来日!

アテネオリンピック開閉会式の演出を手がけ、近年ではピナ・バウシュ亡き後のヴッパタール舞踊団から初のゲスト振付家に指名されるなど、世界のアートシーンで注目が高まるディミトリス・パパイオアヌー。大好評を得た「THE GREAT TAMER」(2019年7月、ロームシアター京都)から約3年ぶりの来日公演が実現します。

今回上演するのは、2021年初演の最新作「TRANSVERSE ORIENTATION」。蛾が本能的に光を求める習性と、人生における意味を探し求める人間の衝動を重ね合わせて描かれた作品と評されています。五感を刺激する鮮烈でユーモアにあふれたシーンが次々と展開していく、圧巻のステージ。神話と芸術が交差する、ディミトリス・パパイオアヌーの独自の世界観は必見です。

ビジュアル・演出 | ディミトリス・パパイオアヌー



©Julian Mommert

ディミトリス・パパイオアヌー / Dimitris Papaioannou

演出・振付家。1964年アテネ生まれ。美術家として活動を始め、舞台芸術のアーティスト(演出家・振付家・美術家・パフォーマー)として知られるようになる前には、画家や漫画製作家として国際的に認められていた。NYでダンスを学び、86年に自身のカンパニーを設立。以後フィジカルシアター、実験的ダンス、パフォーマンス・アートを融合した独自の舞台創作を展開。2004年アテネオリンピックの開閉会式を演出し、世界的に注目を集める。2015-17年には『PRIMALMATTER』(12年初演)、『STILL LIFE』(14年初演)で大規模な世界ツアーを行い、2018年5月にはヴッパタール舞踊団の委嘱により同カンパニーに『Since She』を振付・演出。ピナ・バウシュ亡き後、初めて新作を発表した振付家として大きな話題を呼んだ。



©Julian Mommert

全席指定 1階席 | 6,000円 / 2階席 | 5,000円 / ユース (25歳以下) | 3,000円 / 18歳以下 | 1,000円

[4月24日(日)一般発売開始]

主催 | ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市 共同製作 | ロームシアター京都、彩の国さいたま芸術劇場 ほか

ロームシアター京都セレクション 音楽 舞踊

日程 7月17日[日] 16:00開演 会場 メインホール

新潟発、世界で活躍する舞踊団と太鼓集団による夢の競演!

りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館の専属舞踊団Noism Company Niigataと、佐渡を拠点に活動する太鼓芸能集団 鼓童の共演がついに実現!

新潟から世界へ向けて同時代の創作を続ける両集団が、作曲家・原田敬子による新曲で、新潟発の新作を上演します。

また、バレエ・リュスの創設者ディアギレフの生誕150周年を記念して、ストラヴィンスキー作曲の「結婚」をNoism版として同時上演します。

「鬼」(新作)

演出振付 | 金森穰 音楽 | 原田敬子 出演 | Noism0、Noism1 演奏 | 太鼓芸能集団 鼓童

[同時上演] ストラヴィンスキー「結婚」(Noism新作)

演出振付 | 金森穰 音楽 | I.ストラヴィンスキー (音楽は録音を使用)

出演 | Noism0、Noism1



撮影：篠山紀信



金森穰 / Jo Kanamori

演出振付家、舞踊家。りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館舞踊部門芸術監督、Noism Company Niigata芸術監督。17歳で単身渡欧、モーリス・ベジャール等に師事。NDT2在籍中に20歳で演出振付家デビュー。10年間欧州の舞踊団で舞踊家・演出振付家として活躍後帰国。04年4月、日本初の劇場専属舞踊団Noismを立ち上げる。京都芸術センター運営委員。平成19年度芸術選奨文部科学大臣賞、平成20年度新潟日報文化賞、第60回毎日芸術賞ほか受賞歴多数。令和3年紫綬褒章。ロームシアター京都開館5周年記念事業「舞台芸術としての伝統芸能 Vol.4『雅楽』」(Noism0出演)でも演出振付を手がけた。



撮影：篠山紀信

原田敬子 / Keiko Harada

作曲家。独自のアイデア「演奏家の演奏に際する内的状況を創造する」を軸に、異分野コラボレーションを含め、国内外の音楽祭や放送局、演奏団体やソリストにより委嘱を受けている。日本音楽コンクール第1位、山口県知事賞、芥川作曲賞、中島健蔵音楽賞、尾高賞、輝く女性賞ほか受賞。招聘個展は欧州と東アジア諸国の他、'22-23年シーズンはカナダとブルガリアで予定。'12年から日本の地域で育まれた音文化の美学を、新たな響きと身体表現により創造し、継承を促す「伝統の身体・創造の呼吸」団体代表。4枚の自作作品集CDは国内外からリリースされている。東京音楽大学准教授、桐朋学園大学、静岡音楽館AOI講師。



撮影：Andreas Hussong

太鼓芸能集団 鼓童 / Kodo

新潟県佐渡島を拠点に太鼓を中心とした伝統的な音楽芸能に無限の可能性を見いだし、現代への再創造を試みる集団。1981年、ベルリン芸術祭でデビュー。以来52の国と地域で6,500回を超える公演を行う。多様な文化や生き方が響き合う「ひとつの地球」をテーマとした「ワン・アース・ツアー」という劇場公演の他、小中高校生との交流を目的とした「交流学校公演」、様々なジャンルのアーティストとの共演、映画やゲーム音楽への参加など幅広い活動を行っている。佐渡においては国際芸術祭「アース・セレブレーション」を開催し、国際交流や地域振興にも寄与している。

鼓童

全席指定 S席 | 6,000円 / A席 | 4,000円 / ユース (25歳以下) S席 | 3,000円 / 18歳以下 S席 | 1,500円

[4月23日(土)一般発売開始]

主催 | ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市
共同製作 | りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館、ロームシアター京都、愛知県芸術劇場、荘銀タクト鶴岡
協力 | 株式会社北前船 助成 | 一般財団法人地域創造

ステージプログラム
「快傑ゾロ」アルファ劇場
from チェコ共和国

コミュニティ 音楽 演劇

日程 8月7日 [日] 11:00開演／15:00開演 会場 ノースホール

こどもたちの夏休みのために、
人形劇王国チェコから、
歴史ある人形劇団が来日！

ユネスコ無形文化遺産にも登録されているチェコ人形劇。中でも今、最も歴史ある人形劇団「アルファ劇場」が来日します。現代チェコ人形劇最高の演出家であるトマーシュ・ドヴォジャーク監督の最新作「快傑ゾロ」は、世界的に著名なメキシコのゾロ伝説を、人形劇ならではのリズムカルなテンポとスピーディーな展開で、ユーモアと風刺たっぷりに描いた作品です。チェコの古典的なマリオネットを用い、マリアッチ（メキシコ民俗音楽楽団）形式の楽師による陽気な生演奏が物語を盛り上げ、迫力ある舞台美術が劇場空間をゾロの世界に導きます。ことばに頼らずとも「快傑ゾロ」の魅力あふれるストーリーがしっかり伝わり、こどもたちの夏休みを豊かに彩ります。[全編日本語上演]

2020年8月、2021年8月に予定していた公演の延期開催です。

全席自由 大人 | 2,500円／こども（18歳以下） | 1,000円
こども+おとなペア | 3,000円 [6月18日（土）一般発売開始]

主催 | ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市
協力 | ブーク人形劇場 助成 | チェコ共和国文化省 特別協賛 | ローム株式会社

コミュニティ 音楽 演劇 舞踊 美術・映像

日程 8月13日 [土]-18日 [木] 会場 全館

今年も開催！家族や友達と楽しめる、
ロームシアター京都の夏休み恒例イベント

“劇場で遊ぼう！”を合言葉に、毎年たくさんの子どもたちが集まる大好評企画「プレイ！シアター」。今年はパワーアップして“オープンウィーク”と銘打ち6日間開催します。ご家族、お友達を誘ってロームシアター京都におこしください！

無料、申込不要（予定）

コミュニティ 音楽

日程 8月14日 [日] 11:00開演／14:00開演 会場 メインホール

毎年恒例となった、0歳から参加可能な、京都市交響楽団によるオーケストラコンサート。今年は、絵本とオーケストラのコラボレーションです。人気絵本作家の谷口智則をゲストに迎え、絵本と音楽の組み合わせのほか、ライブペインティングもお楽しみいただけます。

指揮 | 石崎真弥奈 オーケストラ | 京都市交響楽団
ライブペインティング | 谷口智則（絵本作家）

全席指定 小学生以上 | 800円／未就学児無料 [6月18日（土）一般発売開始]

主催 | ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市
特別協賛 | ローム株式会社



撮影：山地憲太



撮影：山地憲太

伝統芸能の継承 演劇

日程 8月25日 [木] 第一部 10:30開演／第二部 18:00開演 会場 サウスホール



【第一部】 能「田村 替装束」
（前シテ）片山伸吾（後シテ）河村晴道
狂言「柿山伏」（シテ）茂山忠三郎
能「鍾馗」（シテ）林宗一郎
【第二部】 半能「右近」（シテ）吉田篤史
狂言「舍弟」（シテ）茂山千之丞
能「鞍馬天狗 白頭」
（前シテ）井上裕久（後シテ）片山九郎右衛門

京都在籍の能楽師有志による能楽チャリティ公演を開催します。

全席自由 1,500円 [6月1日（水）一般発売開始]

主催 | 京都在籍能楽師有志
共催 | 京都市、ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、国際交流基金京都支部

ロームシアター京都セレクション 演劇

日程 9月15日 [木]-17日 [土] 会場 ノースホール



©Philip Frowein

「妖精の問題 デラックス」に続く市原佐都子作品を上演。
約100年以上前に描かれた物語を、
同時代的視点で痛烈に問い直す。

人間の生と性に関わる違和感を大胆かつ緻密に描く新世代の劇作家・演出家、市原佐都子。彼女が主宰する劇団Qと、スイス・チューリッヒのノイマルクト劇場の共同制作作品。西洋／男性からの視点で日本／女性が描かれたジャコモ・プッチーニのオペラ「蝶々夫人」を原案に、その構造をひっくり返し、日本／女性からの視点で西洋／男性を描き、我々の意識／無意識にある人種やジェンダーに対する先入観を揺さぶります。

作・演出 | 市原佐都子 出演 | 竹中香子、Yan Balistoy、Sascha Ö. Soydan
製作 | ノイマルクト劇場
共同製作 | 一般社団法人Q、シアターコモンズ、チューリヒ・シアター・スペクタクル
制作協力 | 城崎国際アートセンター

2022年2月26日（土）、27日（日）に予定していた公演の延期開催です。

全席自由 一般 | 3,500円／ユース（25歳以下） | 2,000円／18歳以下 | 1,000円
[7月15日（金）一般発売開始] ※推奨年齢中学生以上

主催 | ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市

能楽チャリティ公演
～祈りよとどけ、京都より～

ノイマルクト劇場&市原佐都子／Q
「Madama Butterfly（蝶々夫人）」

クロノス・クアルテット
《ブラック・エンジェルズ》&《ディファレント・トレインズ》

ロームシアター京都セレクション 音楽

日程 9月24日〔土〕 会場 サウスホール



©Lenny Gonzalez

唯一無二の世界的カルテットが、
19年ぶりの来日にして京都初登場！

1973年の結成以来、現在もお全世界で年70公演を超える演奏活動を繰り広げている、最高にユニークで、唯一無二の弦楽四重奏団「クロノス・クアルテット」。これまで数千回にも及ぶコンサートや60タイトル以上のレコーディング、様々なアーティストとのコラボレーション、そして1,000を超える弦楽四重奏のための作曲や編曲の委嘱など、前代未聞の弦楽四重奏団として、クラシックの演奏家のみならず、あらゆるジャンルのアーティストからリスペクトされています。今回、結成50周年・19年ぶりの来日になるとともに、京都で初のコンサートが実現します。



©Evan Neff

出演

クロノス・クアルテット

[デイヴィッド・ハリントン（芸術監督&ヴァイオリン）、
ジョン・シャーバ（ヴァイオリン）、
ハンク・ダット（ヴィオラ）、サニー・ヤン（チェロ）]

曲目

ジョージ・クラム：ブラック・エンジェルズ

アレクサンドラ・ヴレバロフ：イレトリケス・ライムズ

（新作・日本初演）

ジェイコブ・ガーシック編曲：朝日のあたる家

ジョージ・ガーシュウィン（ガーシック編曲）：サマータイム

ローリー・アンダーソン（ガーシック編曲）：フロー

スティープ・ライヒ：ディファレント・トレインズ

クロノス・クアルテット／Kronos Quartet

サンフランシスコ出身のクロノス・クアルテットは、1973年の結成から長きにわたり、弦楽四重奏団としての可能性を追求する意志と、大胆に探求していく精神とを併せ持って活動してきた。その中で、世界で最も有名で影響力のあるアンサンブルの1つとなり、これまでに数千回にわたるコンサートを行い、60タイトルを超えるアルバムをリリース、そしてさまざまなジャンルの要素が融合した作曲家やアーティストたち、そしてマルチ・メディアのアーティストと、弦楽四重奏のための1,000以上のレパートリーの創作、演奏、録音などを行っている。これまでに2回のグラミー賞、世界的に名高い「ポーター・ミュージック賞」や「エイブリー・フィッシャー賞」、「WOMEX (World Music Expo) アーティスト賞」などを含む40以上の賞を受賞している。



© Jay Blacksberg

全席指定 1階席 | 6,000円 / 2階席 | 5,000円 / ユース (25歳以下) | 3,000円 / 18歳以下 | 1,500円

[6月25日 (土) 一般発売開始]

主催 | ロームシアター京都 (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

コミュニティ 音楽 演劇 舞踊

日程 10月1日〔土〕-16日〔日〕 予定 会場 ローム・スクエア



Photo: Toshiaki Nakatani



ロームシアター京都の中庭「ローム・スクエア」を会場に今年も多彩なパフォーマンスをお届けします。毎年おなじみの岡崎地域を中心とした市民ステージに加え、今年は独自の視点で京都カルチャーを発信するギャラリー&ショップ「VOU / 棒」オーナー、川良謙太との共同企画イベントの開催や、アーティスト小山田徹とともに、交流と縁食の共有空間をひらきます。

無料、予約不要 企画製作 | ロームシアター京都 主催 | ロームシアター京都 (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

ロームシアター京都セレクション 音楽

日程 10月9日〔日〕 14:00開演予定 会場 サウスホール



京都市立芸術大学は、令和5年10月に京都駅東部への全面移転を予定しています。そのプレイベントとして、また、創設70周年を迎える音楽学部の特別記念公演として、ロームシアター京都では6年ぶりとなる主催公演を開催します。学内で選ばれたソリストがオーケストラと“協演”します。

指揮 | 下野竜也 (京都市立芸術大学音楽学部教授) / 指揮専攻生

管弦楽 | 京都市立芸術大学音楽学部大学院管弦楽団



© Naoya Yamaguchi (Studio Diva)

席種・料金・発売日未定

主催 | 京都市立芸術大学 共催 | ロームシアター京都 (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 後援 | 京都市

京都市立芸術大学音楽学部
創設70周年記念・移転整備プロジェクト
オーケストラ協演！
in ロームシアター京都OKAZAKI
PARK STAGE
2022

カンパニーXY with ラシッド・ウランタン 「Möbius／メビウス」

ロームシアター京都セレクション 舞踊

日程 11月上旬 会場 サウスホール



©Pascale Cholette



©Christophe Raynaud De Lage

世界中で人気を集める現代サーカス集団が京都に初登場！

フランスを拠点に、世界中で注目を集める現代サーカスカンパニー。“集団で行うアクロバット”にこだわり、高度なアクロバット技術とチームワークによって、身体のみで美しい情景をつくりだす彼らの作品は、世界各地で喝采を浴びています。

「Möbius／メビウス」(2019年初演)は、舞台美術が一切ない舞台上で、19名のアーティストが空を舞うムクドリのように、抜群のチームワークで重なり、飛び、空中で身体をひるがえしながら、滑らかに美しい光景を描きだす最新作です。

演出・振付・出演 | カンパニーXY 振付・コラボレーションアーティスト | ラシッド・ウランタン

カンパニーXY

フランスを代表する、現代サーカスのカンパニー。前代未聞となるアクロバットパフォーマー17名による「グランドC」(2009年)、22名からなる「夜はこれから」(2014年)など、集団でのアクロバットによる迫力のパフォーマンスとその芸術性の高さで世界中から注目を集めている。毎回、異なる振付家とのコラボレーションも話題。



ラシッド・ウランタン

アンジェ国立振付センターを卒業後、1995年よりアートプロジェクトを開始。2005年からアムシーのボンリユー国立舞台、2010年からバリー市立劇場のアソシエート・アーティストを務めた後、2016年よりサーカス・アーティストであるヨアン・ブルジョワとグルノーブル国立振付センター(CCN2)の共同ディレクターを務めた。日本においては2012年に「万国博覧会(ワールド・フェア)」、2018年に「TORDRE」が上演されている。2021年4月、シャイヨー国立劇場のディレクターに就任。



©Pascale Cholette

全席指定 料金・発売日未定

主催 | ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市 制作協力 | 世田谷パブリックシアター、愛知県芸術劇場

ロームシアター京都セレクション 音楽 演劇 舞踊 美術・映像

日程 10月1日[土]-23日[日]

会場 ロームシアター京都、京都芸術センター、
京都芸術劇場 春秋座、THEATRE E9 KYOTO ほか

KYOTO EXPERIMENTは、2010年より京都市内で開催している舞台芸術祭です。世界各地の「EXPERIMENT(エクスペリメント)=実験」的な舞台芸術を創造・発信し、芸術表現と社会を新しい形の対話でつなぐことを目指しています。演劇、ダンス、音楽、美術、デザイン、建築などジャンルを横断した実験的表現が集まり、そこから生まれる創造、体験、思考を通じて、新たな可能性をひらいていきます。

国内外の先鋭的なアーティストによる作品を上演する「Shows」、京都および関西地域をアーティストとともにリサーチし、未来の創作基盤につなげていく「Kansai Studies」、トークやワークショップなど鑑賞とは異なるフォーマットで、舞台芸術に限らず先端的な思考に触れる「Super Knowledge for the Future [SKF]」の3つのプログラムで展開します。



KYOTO EXPERIMENT 2022 京都国際舞台芸術祭

席種・料金・発売日未定

主催 | 京都国際舞台芸術祭実行委員会[京都市、ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都芸術センター(公益財団法人京都市芸術文化協会)、京都芸術大学 舞台芸術研究センター、THEATRE E9 KYOTO(一般社団法人アーツシード京都)]

ラーニング 音楽

日程 10月25日[火]、27日[木] 両日13:00開演 会場 メインホール



2017年公演/撮影：寺司正彦

「高校生のためのオペラ鑑賞教室」では、2016年のリニューアルオープン以降、「フィガロの結婚」「蝶々夫人」「魔笛」「ドン・パスクワレ」と上演を重ねてきました。2022年度の上演演目は、新国立劇場のレパートリー作品として人気の高い「蝶々夫人」を再び上演。高い実力を誇る歌手陣と、京都市交響楽団の演奏でお贈りします。また、栗山民也の演出は、死をもって愛を貫いた蝶々さんの世界をシンプルながらスケールの大きな舞台で描いています。人物の内面を鮮やかに描写する演出が、高校生の想像力を刺激し、オペラへの興味を喚起します。

演目 | ジャコモ・ブッチーニ:「蝶々夫人」全2幕(イタリア語上演/日本語字幕付)

指揮 | 阪哲郎 演出 | 栗山民也

蝶々夫人 | 木下美穂子 ピンカートン | 村上公太 シャープレス | 近藤圭 スズキ | 但馬由香
ゴロー | 糸賀修平 ボンゾ | 畠山茂 ヤマドリ | 高橋正尚 ケート | 佐藤路子

全席指定 2,200円(高校生および引率者[学校団体]) *残席がある公演日に限り、高校生以下および一般への事前販売を行います(料金:高校生以下2,200円、一般4,400円) [高校生以下9月10日(土)／一般10月8日(土)発売開始]

主催 | 京都市、ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、新国立劇場
助成 | 公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション 協賛 | ローム株式会社

①空間現代×三重野龍「タイトル未定」

U35 創造支援プログラム「KPPU」2022年度参加アーティスト

ROOMシアター京都セレクション 音楽 美術・映像

日程 12月9日[金]~11日[日] 会場 ノースホール

バンド空間現代とグラフィックデザイナー
三重野龍、いま熱い注目を集める京都拠点のアーティスト2組によるコラボレーション公演の第2弾です。バンドの生演奏に三重野のタイポグラフィがスクリーン投影され交錯するスタイルを継続しつつ、舞台装置などあらゆる要素をさらに融合させ、身体性を高めたパフォーミングアーツの新たな形を模索します。音楽には無い「形」の概念を持つグラフィックデザインと、グラフィックには無い「時間」の概念を持つ音楽の融合による、まだ見ぬ表現が京都から立ち上がります。



「ZOU」 Photo | Toshiaki Nakatani

出演 | 空間現代
グラフィック | 三重野龍
グラフィックサポート | Takuma Nakata
音響 | 西川文章 照明 | 藤原康弘

席種・料金・発売日未定

主催 | 合同会社空間現代
共催 | ROOMシアター京都 (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都芸術センター (公益財団法人京都市芸術文化協会)、京都市

京響プログラム 音楽

日程 2023年1月14日[土] 会場 メインホール

京響と白井晃の初めてのコラボレーションが実現

異分野のアーティストやクリエイターとのコラボレーションによって、京都市交響楽団の新たな魅力を発見し、発信するシリーズ。今回は、演劇を中心に、演出家・俳優として多方面で活躍しながら、音楽にも造詣のある白井晃が演出を手がけます。世界的な新型ウイルスの流行、痛ましい戦争の影響によって、芸術活動の機会を失ったアーティスト、観客は数え切れません。失われてしまった、かけがえのない時間。抜け落ちてしまった記憶や思い出。それらを取り戻すかのように、音楽をコラージュしていきます。白井ならではの視点によって、京響の演奏と、人々の記憶がレイヤーのように重なり合い、聴く人それぞれの心に物語が浮かび上がります。

指揮 | 園田隆一郎 演出 | 白井晃 管弦楽 | 京都市交響楽団

園田隆一郎 / Ryuichiro Sonoda

指揮者。2006年、シエナのキジャーナ夏季音楽週間『トスカ』を指揮してデビュー。翌年、藤原歌劇団『ラ・ボエーム』を指揮して日本デビューを果たす。同年夏にはベザロのロッシーニ・オペラ・フェスティバル『ランスへの旅』の他、フィレンツェのトスカ・管弦楽団との演奏会、カターニアのベッリーニ大劇場管弦楽団の演奏会を指揮した。その後国内外のオペラへの出演、オーケストラとの共演を重ね、オペラと交響曲の両分野で活躍する指揮者の一人である。2017年度第16回斎藤秀雄メモリアル基金賞受賞。藤沢市民オペラ芸術監督。

白井晃 / Akira Shirai

京都府生まれ。早稲田大学卒業後、1983年～2002年まで遊○機械 / 全自動シアター主宰。劇団活動中よりその演出力が高く評価され、外部の演出も数多く手掛ける。現在は、演出家として作品を発表する一方、俳優としても舞台・映像ともに活躍中。2016年4月から21年3月までKAAT神奈川芸術劇場の芸術監督。22年4月より世田谷パブリックシアターの芸術監督に就任予定。第9回、第10回、読売演劇大賞優秀演出家賞、2005年「偶然の音楽」にて、第13回湯浅芳子賞 (脚本部門)、まつもと市民オペラ「魔笛」にて第10回佐川吉男音楽賞、「バリーターク」にて第11回小田島雄志・翻訳戯曲賞などの受賞歴がある。

全席指定 S席 | 6,000円 / A席 | 5,000円 / B席 | 3,000円 / ユース (25歳以下) S席 | 3,000円 / 18歳以下 S席 | 2,000円 [11月発売開始予定]

主催 | 京都市、ROOMシアター京都 (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

ROOMシアター京都セレクション 演劇

日程 2023年2月9日[木]~12日[日] 会場 ノースホール

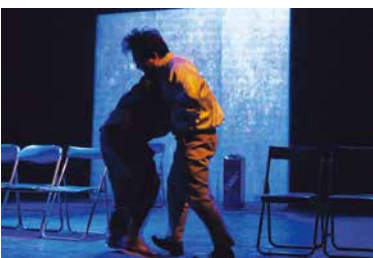
ネガティブな／または社会でネガティブとされている、私的で後ろめたい事象や感情を題材に、それらを貶めるのではなく、共感を呼ぶ笑いへと昇華させたコメディを得意とする「努力クラブ」。座付作家の合田団地による新作「世界対僕」では、“新作”にまつわる劇団代表と劇団員の葛藤から、今の時勢に創作環境に身を置く人々と、その背景にある現代社会への問題意識を取り扱います。

作・演出 | 合田団地

席種未定 前売 | 一般 | 3,000円 / 学生 | 2,500円

当日 | 一般 | 3,500円 / 学生 | 3,000円 ほか券種あり [11月27日(日) 一般発売開始]

主催 | 努力クラブ
共催 | ROOMシアター京都 (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都芸術センター (公益財団法人京都市芸術文化協会)、京都市



撮影 | 小嶋謙介

ROOMシアター京都セレクション 演劇

日程 2023年2月22日[水]、23日[木・祝] 会場 サウスホール

木ノ下歌舞伎が満を持して岡田利規とタッグを組み新作発表！

現代における歌舞伎演目上演の可能性を発信する木ノ下歌舞伎が、約5年ぶりに新しい演出家を招き新作を発表します。新たな演出家は、国内外で活躍し、近年の能の翻訳や能の形式での新作の上演などにも意欲的に取り組むチェルフィッチュの岡田利規。木ノ下裕一監督・補綴のもと、岡田利規書き下ろしの上演台本で、数々の演出家が手がけてきた鶴屋南北の代表作「桜姫 東文章」に挑みます。未曾有の天災や人災、コロナウイルスの蔓延など、社会が大きく変容し続ける現代に、価値観を問い直す意欲作です。岡田利規と歌舞伎がどんな化学反応をみせるのか、木ノ下歌舞伎の新たな取り組みにご期待ください。

作 | 鶴屋南北 監修・補綴 | 木ノ下裕一 脚本・演出 | 岡田利規 出演 | 成河、石橋静河 ほか

木ノ下歌舞伎 / Kinoshita Kabuki

歴史的な文脈を踏まえつつ、現代における歌舞伎演目上演の可能性を発信する団体。あらゆる視点から歌舞伎にアプローチするため、主宰である木ノ下裕一が指針を示しながら、さまざまな演出家による作品を上演するというスタイルで、京都を拠点に2006年より活動を展開している。代表作に『東海道四谷怪談通し上演』、『隅田川』、『娘道成寺』、『義経千本桜渡海屋・大物浦』、ROOMシアター京都レパトリー作品『糸井版 摂州合邦辻』など。2015年に再演した『三人吉三』にて読売演劇大賞2015年上半期作品賞にノミネート、2016年に上演した『勅進帳』の成果に対して、木ノ下裕一が平成28年度文化庁芸術祭新人賞を受賞。



© 東直子

岡田利規 / Toshiki Okada

演劇作家 / 小説家 / チェルフィッチュ主宰。1973年横浜生まれ、熊本在住。活動は従来の演劇の概念を覆すとみなされ国内外で注目される。『三月の5日間』で第49回岸田國士戯曲賞受賞。小説集『わたしたちに許された特別な時間の終わり』で第2回大江健三郎賞受賞。2016年よりミュンヘン・カンマーシュピーレのレパトリー作品演出を4シーズンにわたって務め、2020年『The Vacuum Cleaner』がドイツの演劇祭Theatertreffenの“注目すべき10作品”に選出。『ブラタナー：憑依のポートレート』で第27回読売演劇大賞 選考委員特別賞受賞。戯曲集『未練の幽霊と怪物 挫波 / 敦賀』で第72回読売文学賞 戯曲・シナリオ賞、鶴屋南北戯曲賞受賞。2019年度から続けて「劇場の学校」講師を務める。



© Kikuko Usuyama

席種・料金未定 [12月3日(土) 一般発売開始]

企画制作・製作 | 木ノ下歌舞伎 / 一般社団法人樹来舎
主催 | ROOMシアター京都 (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

ROOMシアター京都×京都市交響楽団
シアターオーケストラ
コンサートシリーズ



©Fabio Parenzan



小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトXX のプッチーニ・歌劇「ラ・ボエーム」

ROHM CLASSIC SPECIAL

作品創造 音楽

日程 2023年3月17日〔金〕、19日〔日〕 会場 メインホール



世界的な指揮者である小澤征爾とローム株式会社の佐藤研一郎社長（当時）がオペラを通じて若い音楽家を育成することを目的に、2000年に立ち上げた教育プロジェクト「小澤征爾音楽塾」によるオペラ公演です。2023年のオペラ・プロジェクトは、2021年に新型コロナウイルス感染症の影響により残念ながら中止となった、ジャコモ・プッチーニによる歌劇「ラ・ボエーム」をあらためて上演します。ボヘミアンたちが多く集まるパリを舞台に、貧しい生活ながら愛と夢に生きた若者たちを描いた名作で、演出：デイヴィッド・ニース、装置・衣装デザイン：ロバート・バージオラによる新制作でお届けします。日本をはじめアジア各国からオーディションを経て選出され、サイトウ・キネン・オーケストラメンバーらの熱い指導を受けて大きく成長する小澤征爾音楽塾オーケストラが演奏を務めます。



© Shintaro Shiratori

音楽監督 | 小澤征爾 指揮 | ディエゴ・マテウス
管弦楽 | 小澤征爾音楽塾オーケストラ
ほか

席種・料金・発売日未定

主催 | 小澤征爾音楽塾／ヴェローザ・ジャパン、京都市、ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）
共催 | 公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション 協賛 | ローム株式会社 企画・制作 | ヴェローザ・ジャパン

ラーニング 音楽

日程 2023年3月 会場 メインホール

毎年恒例となった、京都府内の小学生を対象としたオペラ公演です。本公演と同じ舞台で繰り広げられる、迫力あるオペラの上演（一部抜粋）は、オペラ鑑賞が初めての子どもたちも、楽しく体験出来る機会となっています。



©大塚道治

音楽監督 | 小澤征爾
管弦楽 | 小澤征爾音楽塾オーケストラ
ほか

京都府内の小学生6年生を対象にした招待公演（学校単位での申込のみ）

主催 | 小澤征爾音楽塾／ヴェローザ・ジャパン、京都市、ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）
共催 | 公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション 協賛 | ローム株式会社
企画・制作 | ヴェローザ・ジャパン

作品創造 演劇

日程 2023年2月中旬（予定） 会場 ノースホール

松田正隆書き下ろしによる 劇場レパトリー作品の第二弾！

2020年度のレパトリー作品「シーサイドタウン」に続き、劇作家・演出家の松田正隆が新作を書き下ろします。本作も、自身の故郷・長崎を舞台として、地方都市に暮らす人たちの生きざまを描きます。文字通り「シーサイドタウン」の続編ともいえるこの新作を、「シーサイドタウン」と一緒にご覧ください。

作品創造 演劇

日程 2023年2月中旬（予定） 会場 ノースホール



Illustration:Fuyuki Kanai



Photo:Tashiaki Nakatani

2020年に製作したレパトリー作品をふたたび上演。 描かれるのは、ある海辺の町に住まう人たち

2020年度のレパトリー作品として、松田正隆が書き下ろした「シーサイドタウン」。長らく京都で活動した後、現在は東京を拠点にする松田にとって、京都で自身の演出作品を上演するのは約10年ぶりのことでした。戯曲に立ち返りながら、マレビトの会で積み重ねた作劇方法を発展させ、物語を上演することの本質に迫ったこの作品は、大きな反響を呼びました。待望の再演です。

【2作品共通】

作・演出 | 松田正隆（劇作家・演出家・マレビトの会代表）

出演 | 生実慧、鈴鹿通儀、大門果央、田辺泰信、深澤しほ、横田僚平 ほか

演出助手 | 福井裕孝



松田正隆／Masataka Matsuda

劇作家・演出家・マレビトの会代表。1962年、長崎県生まれ。96年『海と日傘』で岸田國士戯曲賞、97年『月の岬』で読売演劇大賞作品賞、99年『夏の砂の上』で読売文学賞を受賞。2003年「マレビトの会」を結成。主な作品にフェスティバル・トーキョー2018参加作品「福島を上演する」など。2012年より立教大学現代心理学部映像身体学科教授。ロームシアター京都「劇場の学校プロジェクト」では3年続けて講師を務めている。

「文化センターの危機」

レパトリーの創造

松田正隆 作・演出

「シーサイドタウン」

ロームシアター京都 レパトリー作品

松田正隆 作・演出

全席自由 一般|3,500円／ユース（25歳以下）|2,000円／18歳以下|1,000円 [11月発売開始予定]

※「文化センターの危機」「シーサイドタウン」各公演ごとにチケットが必要です。

※2公演セット券を発売予定、料金未定

企画製作 | ロームシアター京都 主催 | ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市 協賛 | 京都信用金庫

芸能の在る処 ～伝統芸能入門講座～

地域の課題を考えるプラットフォーム

「仕事と働くことを考える」 (その2)



木ノ下裕一 ©東直子

伝統芸能の継承 演劇 舞踊 学び 日程 年3回開催

木ノ下歌舞伎主宰で、古典芸能/伝統芸能に関する執筆、講座など多岐にわたる活動が注目されている木ノ下裕一を案内人とする伝統芸能入門講座を2021年度に続き開講します。
文楽編・松竹新喜劇編・能楽編に続き、2022年度は新たに3つの芸能を取り上げます。

主催 | ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

コミュニティ 演劇 学び

- ① 村川拓也 演出「Pamilya (パミリヤ)」 日程 2022年12月下旬 会場 ノースホール
- ② トークセッション | 日程 通年 会場 パークプラザ3階共通ロビー

2021年度に引き続き、「仕事と働くこと」をテーマに、様々な角度から考えるヒントを探ります。また、2020年度の本プログラムで映像上映を行った舞台作品「Pamilya (パミリヤ)」(演出：村川拓也)の上演も行います。本作は、フィリピンから来日した介護士が実際に出演し、彼女が働く介護福祉施設の日常を舞台上で再現します。



「Pamilya (パミリヤ)」 撮影：富永亜紀子

村川拓也 / Takuya Murakawa

演出家・映像作家。ドキュメンタリーやフィールドワークの手法を用いた作品を、映像・演劇・美術など様々な分野で発表し、国内外の芸術祭、劇場より招聘を受ける。虚構と現実の境界に生まれる村川の作品は、表現の方法論を問い直すだけでなく、現実世界での生のリアリティとは何かを模索する。主な作品に、『ムーンライト』(ロームシアター京都「CIRCULATION KYOTO- 劇場編」2018、フェスティバル/トーキョー20)、『Pamilya (パミリヤ)』(キビるフェス2020)、『事件』(2021、第21回AAF戯曲賞 特別賞受賞)など。京都芸術大学映画学科 非常勤講師。



©Guoqing Jiang

- ① 村川拓也 演出「Pamilya (パミリヤ)」 | 全席自由 一般|3,000円 / ユース(25歳以下)|1,000円 / 18歳以下|500円
- ② トークセッション | 無料、事前申込優先

主催 | ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

ラーニング 学び 日程 通年 ※2023年3月に最終報告会を予定



プログラム策定のためのリサーチ、舞台芸術に関わる研究・批評分野と実践の場をつなげる若手人材の育成を目的に、2017年度よりリサーチプログラムを実施しています。2022年度も、重点テーマである「現代における伝統芸能」「子どもと舞台芸術」、「舞台芸術のアーカイヴ」、そして自由テーマのリサーチャーを募集しています。

メンター | 吉岡洋(京都芸術大学文明哲学研究所特任教授)、若林朋子(立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科特任教授、プロジェクト・コーディネーター)

主催 | ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

ラーニング 演劇 舞踊 美術・映像 学び 日程 7-8月



©金サジ (umiak)

2019年度からスタートしたロームシアター京都の「劇場の学校」。4年目は「演劇」「舞踊」「メディア表現」の3つのコースを設け、国内外の第一線で活躍するアーティスト等が講師を務めます。各分野の表現について、参加者自身が身体を動かし、考え、ともに「創る」ことに取り組みます。また、コースに関連した多様なオープンクラスも実施します。

【講師】

演劇コース | 岡田利規(演劇作家／小説家／チェルフィッチュ主宰)

舞踊コース | 木田真理子(ダンサー) メディア表現コース | 山城大督(美術家・映像作家) ほか

企画製作 | ロームシアター京都

主催 | ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

コミュニティ 舞踊

日程 9月4日[日]、11日[日] / 11月13日[日]、19日[土]、27日[日]

会場 京都市東部文化会館、京都市呉竹文化センター、京都市西文化会館ウエスティ、京都市北文化会館、京都市右京ふれあい文化会館

京都市内の文化会館と協働し、未就学児向けの作品上演を行います。地域のこどもたちが初めて劇場に足を運ぶ=“シアターデビュー!”の機会をつくり、これを契機に地域コミュニティと劇場の結びつきを深めます。2022年度はロームシアター京都が新たに製作するオリジナル演目が登場。おとなとこどもが一緒に楽しめる場をつくります。

構成・出演 | 中間アヤカ 美術 | TAIYA 出演 | 佐藤健太郎、垣尾優

席種・料金未定 [7月発売予定]

主催 | 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団(ロームシアター京都、京都市東部文化会館、京都市呉竹文化センター、京都市西文化会館ウエスティ、京都市北文化会館、京都市右京ふれあい文化会館)、京都市

ラーニング 学び 日程 通年

ロームシアター京都と京都市ユースサービス協会の連携事業として実施し、2022年度で6年目となります。本事業は、15～30歳の若者を対象に、ロームシアター京都を職業体験の場として活用したもので、現役職員から制作基礎知識等を学ぶ講座や、実際の公演の観客誘導や受付、創作現場の稽古場サポート等の体験を通して、劇場の仕事に触れます。このプログラムを通して、参加者が、劇場や舞台芸術の現場にとどまらず、自分のキャリアデザイン～仕事を通じて実現したい将来像やそれに近づくプロセスを意識してもらうことを目的にしています。



主催 | ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、公益財団法人京都市ユースサービス協会、京都市

劇場の学校

「シアターデビュー！」 促進プログラム

ロームシアター京都×京都市文化会館5館連携事業

未来のわたし ～劇場の仕事～

ロームシアター京都×京都市ユースサービス協会連携事業

ロームシアター京都 レポートリー作品

市原佐都子／Ｑ

「妖精の問題 デラックス」 久留米公演

作品創造 演劇

日程 7月2日〔土〕、3日〔日〕

会場 久留米シティプラザ Cボックス（福岡県久留米市）



Photo | Toshiaki Nakatani

2021年度のレポートリー作品が早くも巡演決定！

2021年度の「レポートリーの創造」作品として、ロームシアター京都が製作し、2022年1月に初演、話題を呼んだ本作を、早くも九州で上演します。相模原障害者施設殺傷事件をきっかけに創作された「妖精の問題」（2017年初演）を、当劇場のレポートリーとして再創作した本作。自虐や偏見に満ち溢れた世界をコミカルかつ強烈な言葉で描きだしながらも、「できるだけ偽善的ではない方法であらゆる生を肯定する」という試みがこめられています。三部構成のうち、漫才形式に大幅改訂された「一部」の戯曲のほか、魅力あふれる俳優陣7名に、音楽、美術、衣裳とすべてが“デラックス”版として生まれ変わった見どころ満載の作品です。

作・演出 | 市原佐都子 音楽 | 額田大志 出演 | 朝倉千恵子、筒井茄奈子、大石英史、キキ花香、廣川真菜美、富名腰拓哉、緑ファンタ
美術 | dot architects 衣裳 | 南野詩恵

製作 | ロームシアター京都 主催 | 久留米シティプラザ（久留米市）

コミュニティ

ロームシアター京都では、市民に憩いの場を提供し、新しい“京都会館”＝ロームシアター京都を象徴するプログラムのひとつとして、日常的に「アセンブリープログラム」を開催しています。アセンブリープログラムは、「ほんものとの出会い」を作り出す京都岡崎 蔦屋書店（カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社）と連携し、賑わいを生み出すために行うさまざまなイベントの総称です。ロームシアター京都が目指す劇場文化を育むための入り口として、気軽に参加できるマルシェや読書会、トークイベントなどのプログラム、一般参加型のワークショップなどのプログラム、ロームシアター京都自主事業と連動したプログラム、地域施設・団体と連携したプログラムを展開しています。

過去開催したアセンブリープログラムの一例

- マルシェ（岡崎いろどりマルシェ ほか）
- ワークショップ（切り絵でクリスマスのフレームやモビールを作ろう!! ほか）
- トークイベント ● 展示企画 ほか



音楽総合体験施設 ミュージックサロン

ミュージックサロンは、音楽とさまざまな形で触れあえる施設です。本格的な音響施設を備えた120 インチスクリーンでのオペラ等の鑑賞や、音楽家によるコンサート、専門家によるセミナーなど随時開催しています。

場所 | パークプラザ3階 料金 | 入場無料 ※一部整理券が必要な場合あり

共同運営 | 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団
公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション
共催 | ローム株式会社



コミュニティ 学び 月2回更新中

SPIN-OFF

by ROHM Theatre Kyoto

「もうひとつのロームシアター京都を見つける」WEBマガジン

ロームシアター京都の自主事業（劇場自らが企画あるいは招聘し、主催または共催としておこなう事業）の上演・実施において、企画の趣旨や魅力、それらの背景を紹介するプラットフォームとしてWEBマガジンを創刊しました。

Spin-Offでは、作品に関するインタビューやコラム、上演した公演のレポートやレビューを掲載するほか、社会と芸術にまつわる多様なテーマに基づく論考や連載も掲載します。上演の場所としてだけでなく、思考するメディアとしてのロームシアター京都のすがたを蓄積していきます。また、若手の書き手への公演レビューの執筆・掲載にも取り組み、あらたな出会いを通して関西圏の舞台芸術シーンにおける批評の活性化をめざします。



<https://rohmtheatrekyoto.jp/spin-off/>

コミュニティ 学び WEBマガジン「Spin-Off」内にて連載中

ロームシアター京都自主事業として2017年度より発行している機関誌。2021年よりWEB版としてリニューアルしました。WEBマガジンとなる『ASSEMBLY』は、インターネットと消費の海に流されない、継続した議論を実現するための試みとして、2021年より継続して3つの主題「ひとり」「ふつう」「知らない」をきっかけ活動します。



<https://rohmtheatrekyoto.jp/spin-off/assembly/>

機関誌

「ASSEMBLY
(アセンブリー)」

アセンブリー
プログラム

作品創造 舞踊 美術・映像

日程 通年 会場 ノースホールほか

アーティスト・高谷史郎を迎えて、2023年度の新作発表を目指す中期プロジェクトの2年目です。高谷はマルチメディアパフォーマンス集団「ダムタイプ」の創設メンバーとして、ビジュアルワークを総合的に担当した後、近年はディレクションに携わってきました。また、ダムタイプの活動と並行して、30年にわたリソロ・アーティストとしても独自の表現スタイルを追求し、常に芸術と技術の新しい実験を試み、美しさと同時に、先鋭的なアイディアで世界的に注目される作品を発表しています。音楽家 坂本龍一や霧の彫刻家 中谷芙二子等との数々のコラボレーションをはじめ、映像作品から舞台作品まで幅広い領域で国際的に活躍しています。

- クリエーションに際して行った高谷史郎インタビューをWEBマガジン「Spin-Off」に掲載中

企画製作 | ロームシアター京都

主催 | ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市

WEBマガジン

「Spin-Off（スピンオフ）」

高谷史郎
新作クリエーション

レポートリーの創造

TICKET

チケットのご購入について

【WEB】オンラインチケット 24時間購入可／要事前登録（無料）

URL <https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>

※電子チケットでの引取も可能（対象公演のみ）



【電話・窓口】ロームシアター京都 チケットカウンター

TEL 075-746-3201（窓口・電話とも10:00～19:00／年中無休 ※臨時休館日を除く）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため短縮営業する場合あり

【電話・窓口】京都コンサートホール チケットカウンター

TEL 075-711-3231（窓口・電話とも10:00～17:00／第1・3月曜日休館 ※休日の場合は翌日）

MEMBER

会員制度のご案内

▶ フレンズ会員（無料オンライン会員） | 年会費 無料・要登録

ロームシアター京都主催公演のチケット先行予約特典付きのお得な会員制度

特典
① チケット先行予約
（オンライン限定）
ロームシアター京都主催公演※

特典
② インターネットでの
チケット購入
ロームシアター京都・
京都コンサートホールでの公演

特典
③ パソコン・携帯電話への
メールマガジン配信
最新のチケット発売情報や
公演情報など

▶ Club会員 | 年会費 1,000円(税込)

京都コンサートホール、
ロームシアター京都共通の会員制度
各会員制度の詳細は
右記QRコードよりご確認ください。



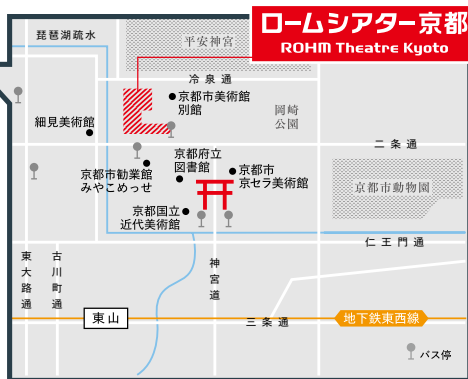
▶ ご支援のお願い（サポーター・パートナー制度）

ロームシアター京都・京都コンサートホール
自主事業に対する寄付制度です。
皆さまのあたたいご支援・ご協力を
よろしくお願い申し上げます。



特典
税制上の優遇措置、自主事業チケット
最速先行予約、情報誌のご送付など

ACCESS



T606-8342 京都市左区岡崎最勝寺町13

※営業・開館時間は状況により変更することがあります。最新情報はお問合せください。

- 京都市営地下鉄東西線「東山」駅下車1番出口より徒歩約10分
- 市バス32・46系統「岡崎公園 ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車すぐ
- 市バス5・86系統「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車徒歩約5分
- 市バス31・201・202・203・206系統「東山二条・岡崎公園口」下車徒歩約5分

CONTACT

TEL 075-771-6051（代表） 075-746-3201（チケットカウンター）

FAX 075-746-3366 URL <https://rohmtheatrekyoto.jp/>

f @ROHMTheatreKyoto t @RT_Kyoto i @rohmtheatrekyoto

y https://www.youtube.com/c/ROHMTheatreKyoto2016